

大阪市立大学文学部案内

二〇一六年度版

ご一読あれ

はんなりてら



市大文学部の4年間は、先輩と一緒にコース選択について聞いてきました！

四年間の流れ

1回生として過ごす1年間は、コトは様々ですが、演習や講読、実験を通して学びを深めます。もちろん、所属している大学がオムニバス式で授業をしてくださる講義や、幅広い総合教育科目（※）を通じて、自分の興味を持った先生が受け持つ学生の数の少なさを考えてもそうです。それに、市大文学部は規模がどんどん大きくなっていますが、すごく和気あいあいとしていて、明るい雰囲気がいいです。そして毎年若くて優秀な先生が入ってこられるので人材の面でも大変充実していて魅力的な場所だと思います。

2・3回生になると、いよいよコース選択として過ごす1年間は、コトは様々ですが、演習や講読、実験を通して学びを深めます。もちろん、所属している大学がオムニバス式で授業をしてくださる講義や、幅広い総合教育科目（※）を通じて、自分の興味を持った先生が受け持つ学生の数の少なさを考えてもそうです。それに、市大文学部は規模がどんどん大きくなっていますが、すごく和気あいあいとしていて、明るい雰囲気がいいです。そして毎年若くて優秀な先生が入ってこられるので人材の面でも大変充実していて魅力的な場所だと思います。

1回生として過ごす1年間は、コトは様々ですが、演習や講読、実験を通して学びを深めます。もちろん、所属している大学がオムニバス式で授業をしてくださる講義や、幅広い総合教育科目（※）を通じて、自分の興味を持った先生が受け持つ学生の数の少なさを考えてもそうです。それに、市大文学部は規模がどんどん大きくなっていますが、すごく和気あいあいとしていて、明るい雰囲気がいいです。そして毎年若くて優秀な先生が入ってこられるので人材の面でも大変充実していて魅力的な場所だと思います。

1回生として過ごす1年間は、コトは様々ですが、演習や講読、実験を通して学びを深めます。もちろん、所属している大学がオムニバス式で授業をしてくださる講義や、幅広い総合教育科目（※）を通じて、自分の興味を持った先生が受け持つ学生の数の少なさを考えてもそうです。それに、市大文学部は規模がどんどん大きくなっていますが、すごく和気あいあいとしていて、明るい雰囲気がいいです。そして毎年若くて優秀な先生が入ってこられるので人材の面でも大変充実していて魅力的な場所だと思います。

市大文学部の4年間は、先輩と一緒にコース選択について聞いてきました！

コース選択のいろは

市大文学部ではどのようなところですか？

市大文学部には教育促進支援機構というものがおり、新入生キャンプや就活セミナーなども開いてくれます。入学から卒業まで至れり尽くせりで、環境としてはよくなつたのではないかと感じています。

市大文学部とはどのようなところですか？

市大文学部は規模がちんまりしているんですが、すごく和氣あいあいとしていて、明るい雰囲気がいいです。そして毎年若くて優秀な先生が入ってこられるので人材の面でも大変充実していて魅力的な場所だと思います。

市大文学部での学びとは何ですか？

市大文学部の学びとは、すぐに効き目がわからぬものなんです。たとえば、専門学校や他の学部であれば、そこで学んだことは社会に出てすぐ役に立つか、立たないかがわかりますよね。それに比べて、文学部の学びは卒業して10年、20年、下手すれば30年経つてから学んだ意味がわかつくるものなんですよ。そしてその意味がわかつたときに、大学生振り返って、こういうことを学んでいたかったな、と思えるのが市大文学部の学びなのではないでしょうか。

最終的に社会学コースを選んだのはなぜですか？

先輩の話や授業を通じて、地理学に色々と揃っている市大文学部は、学生にはもってこいの場所だと思いました。入学した際には学びに対して奥手にならず、専門外のことにも興味を持つて、自発的に大いに学んではいると思います。

あなたにはぜひ受験をクリアしました！

ありがとうございます。市大文学部に来てくれば、きっとあなたには興味を持つことや先輩の話を聞くこともできる大切だと思います。

市大文学部を自指する人にメッセージをお願いします。

大阪市立大学文学部長 言語文化学科 表現文化コース教授 小田中 章浩先生

1949年 法文学部文学科創設
(文学部の前身)

1953年 文学部創設

1954年 修士課程設置

1955年 博士課程設置

1968年 5学科 12専攻

1999年 3学科 15コースに改編

2001年 正式名称が「大阪市立大学大学院文学研究科」に改編

2002年 文部科学省の「21世紀 COE プログラム」に採択

2010年 3学科 13コース 2領域（文学部）

4専攻 15専修（文学研究科）に改編

市大文学部の歴史

哲学歴史学科

人文行動学科

言語文化学科

大学院文学研究科

次ページからコース紹介が始まるよ！



この文学部案内をお読みのみなさんへのメッセージを学部長の小田中先生にいただきました。



市大文学部を自指する人にメッセージをお願いします。

大阪市立大学文学部長 言語文化学科 表現文化コース教授 小田中 章浩先生

1949年 法文学部文学科創設
(文学部の前身)

1953年 文学部創設

1954年 修士課程設置

1955年 博士課程設置

1968年 5学科 12専攻

1999年 3学科 15コースに改編

2001年 正式名称が「大阪市立大学大学院文学研究科」に改編

2002年 文部科学省の「21世紀 COE プログラム」に採択

2010年 3学科 13コース 2領域（文学部）

4専攻 15専修（文学研究科）に改編

市大文学部の歴史

哲学歴史学科

人文行動学科

言語文化学科

大学院文学研究科

次ページからコース紹介が始まるよ！

われわれは何者なのか？どこから来ているのか？人間とは何者なのか、私たちの歩みが歩んできた道のりがどのようなものだったのか、人間とは何者なのか、それを理解しなくては、私たちの未来の明確なイメージを描くことは決してできないでしょう。哲学歴史学科は、このようないわば伝統の克服が叫ばれています。しかし、私たちの歩みが歩んできた道のりがどのようなものだったのか、人間とは何者なのか、それを理解しなくては、私たちの未来の明確なイメージを描くことは決してできないでしょう。哲学歴史学科は、このようにこれまでの歩みから明らかにしています。各コースの学問分野を中心とし、それらを有機的に結びつけた独自のカリキュラムにより、「人」と「環境」の複雑さを、様々な視点から理解できる人材の育成をめざしています。

行動学科では、観察・調査・実験といった科学的方法にもとづき、人間の行動・私たちの社会・環境・そして両者のかかわりについて、多様な角度から明らかにしています。各コースの学問分野を中心とし、それらを有機的に結びつけた独自のカリキュラムにより、「人」と「環境」の複雑さを、様々な視点から理解できる人材の育成をめざしています。

言語文化学科は、言語を通して人間にアプローチし、人間が作り上げた文化を探求します。わが国・アジア地域・欧米諸地域の文学や、思想関係の文献を読み、言語の姿や仕組みを考察します。言語と関係する文化、たとえば演劇・音楽・映画などを分析対象です。こうした作業を通じて、人々がこれまで何を考えてきたか、現在何を考えているのか、そして今後のよくなじい考え方を打ち出すのかを探ります。

人文行動学科

言語文化学科

大学院文学研究科

教育促進支援機構

公式キャラクター りてらちゃん

哲学歴史学科 日本史コース

哲学歴史学科 哲学 コース

哲学コース
つてどんなとこ?

哲学は、およそ我々人間が問うるすべてのことがからで、自由な理性的探求を行なう学問です。知識や存在についての根本的探求、倫理、宗教、芸術についての原理的考察などその営みの中心を構成します。哲学は今も昔も、複雑に絡み合った思考のもつれを解きほぐし、新たな世界觀の提示と大きな概念の創出を試みてきました。

こうした知的的努力の成果を広く深く学びつつ、それと同時に、現在の状況における重要な諸問題にどのように応答すべきかを考えることが哲学の課題です。哲学コースでは、自ら問題を形成し、より強く考えぬく自立心と、偏狭な見方を避けあらゆる可能性に對して開かれた知性を育むことを目指しています。

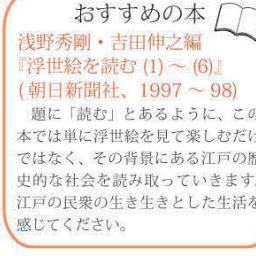
日本史コースは、大阪に根ざした都市史・地域史を中心に、様々な時代やテーマで日本の歴史を学び、研究することのできるコースです。地域に残された生の史料(遺跡や遺物、古文書や行政文書、景観や聞き取りなど多様)をみなさん自身が新解いて、過去の真実を解明する——この醍醐味を味わつてください。歴史学は、過去の人間の多様な営みとその意味を、具体的に、かつトータルに明らかにする学問です。地域史以外にも、國家・政治・外交・戦争や国際関係、宗教・身分や法と社会経済と文化など、幅広いテーマで本格的に学べるコースです。日本史コースには、考古・古代・中世・近世・近現代すべての時代の担当教員がおらず、充実した指導が受けられます。

佐賀先生について



教授
佐賀 朝 先生

小谷さんについて



おすすめの本
浅野秀剛・吉田伸之編
『浮世絵を読む(1)~(6)』
(朝日新聞社、1997~98)

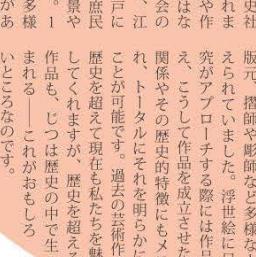
題に「読む」とあるように、この本では単に浮世絵を見て楽しむだけではなく、その背景にある江戸の歴史的な社会を読み取っていきます。江戸の民衆の生き生きとした生活を感じてください。

佐真先生についての「芸術」



歴史学は、芸術とは繋がりながら見えていました。しかし、時代の中から生まれました。1回生のときには国際問題をあつかう授業を受けたのですが、この授業で日本史を始めたのがきっかけです。日本史コースに入つてから「の気づき」

佐真先生についての「芸術」



から何が読み取れるのかを考えていますが、さにあらず。芸術も歴史社会の一部として時代の中から生まれました。歴史学では、芸術の表現形態や作品に込められた思想を探るだけではなく、それを産み出した時代や社会の特質も自ら向けています。例えば江戸時代の浮世絵は、巨大都市江戸に存在した歌舞伎芝居、遊廓や庶民の生活、彼らが楽しかった風景や名所を画題としています。1コマの絵の背後には、多様で複雑な社会関係があり、じつは浮世絵を売り業者が発達した地域を授業で訪ねたり、製薬会社が多く並んでおり、身近な歴史の名残を感じました。また、普段「コースを見るときなども資料の正確さを意識する姿勢が身につきました。

卒業論文
タイトル紹介

○古代日本における天命思想

——奈良時代の恩赦を中心

○大坂天満宮をめぐる社会的諸関係

——六月祭礼を中心

○芸娼妓解放令後における石川県の遊所統制

3回生
小谷 真子さん

おすすめの授業

日本史講読III

私は文化化や開発などを大阪の近代都市史の研究をしていました。大阪という都市には、地域ごとの特色が色濃く見られます。大阪の様々な地域での生活や生産、開発の歴史あるいは、大阪社会集団などについての研究を行なっています。工場、遊廓やスラム、居留地など、地域ごとの特色を明らかにする形で研究をしていました。そのため、単に文献を読むだけではなく各地域にフィールドワークを行なって、現地で残る様々な近代の痕跡をたどり、調査することもあります。また、都市史の視点から遊廓について調べる延長として、「従軍慰安婦」の問題にも興味を持つています。

身近にある生きた史料を母語で読み、考えることができるは日本史において、史料でいく中で想像を超えるような歴史の出来事が明らかになることがあります。また、日々好奇心を掻き立てられていて、充実した指導が受けられます。

研究内容は時間です。扱われる問題は多岐にわたります。一言でいえば、「時間とは何か」について研究しています。しかし、単に時間について研究する時間もあれば、我々も、日々が経験する時間もあれば、我々の経験を離れて流れれる時間も存在します。そのため、時間の流れとは何なのか、何かといった問題、また科学で扱われる時間と日常において前提とされる時間の離隔という問題も考える必要があります。

たとえば、特殊相対性理論では、観察者の運動状態に依存して、時間がどうなるか、時間がどうなります。つまり、同時性は観察者の運動に相対的なものとして考るられています。たしかに日常的な場面では、この今と同時にものを見るとき、それが実際に同じと考えながらですが、実際には観察者ごとに違うということです。現在の絶対性と同時性の相対性というこの問題に加えて、よりSFTに近い興味深いテーマとして、タイムドローベルは本当に可能かどうか、そこに時間の本性に反するような矛盾はないかということも自下検討中です。

佐井さんについて

私は小学生になつても変わらなかつたので、哲学を志望しています。哲学会議がある人でした。その影響か、高校生のときの論理が好きで、その気持ちは大学生になつても変わらなかつたので、哲学を志望しています。

——コースに入つてからの気づき

人数が少ない分少し不安でしたが、大きめ細かい指導を先生からいただけたので、恵まれた環境です。哲学に関する予備知識がなくとも、ついていけます。哲学会議がなくても、フレンドリーです!

卒業論文
タイトル紹介

○人間への軽蔑と生の肯定

○「多数派専制」に対するJ.S.ミルによる自由の擁護論について
○「ゾンビ論証」の妥当性

佐金先生について

私は小學生のときからずっとお世話をなっている塾の先生が、インド哲学の教養がある人でした。その影響か、高校生のときの論理が好きで、その気持ちは大学生になつても変わらなかつたので、哲学を志望しています。

——コースに入つてからの気づき

哲学会議がなくても、フレンドリーです!

ACEには、ディスカッションやプレゼンテーションなどを行なう授業、文学作品や新聞記事を読む授業などがあり、その内容は多岐にわたります。

4

人間行動学科 地理学コース

地理学コースは、地理学の中でも広く人文（人間）がかかる現象を扱う「人文地理学」という学問分野について、研究教育を進めています。このように地域を研究する技術を身につけた卒業生は、公務員・一般企業・研究機関など多様な職種に就職しています。デスクワークを越えたスキルを獲得できるという点でも就職是有利だと思います。

地理学コースは、地理学の中でも広く人文（人間）がかかる現象を扱う「人文地理学」という学問分野について、研究教育を進めています。このように地域を研究する技術を身につけた卒業生は、公務員・一般企業・研究機関など多様な職種に就職しています。デスクワークを越えたスキルを獲得できるという点でも就職是有利だと思います。

研究について



教授
やまざき
孝史
先生

梶本さんについて



3回生
梶本
千尋
さん

「コースに入つたきっかけ」

初めは主に地図に関心があったのであります。しかし、学んでいくうちに都市分野や観光空間、地域研究など様々な分野と結びついてきました。このように、地理学の面白さを発見してきました。

「おすすめの授業」

この授業では、ある地域について調べるテーマをいくつか決め、テーマの班ごとに事前調査を行ない、その後現地調査を行いました。昨年度は島根県出雲市を行いました。初めてのフィールドワーク、聞き取り調査は大変でしたが、とてもよい経験になりました。普段見ることができない自然の構造は強烈印象に残っています。

梶本さんについて

おすすめの本
竹中克行編著
『人文地理学への招待』
(ミネルヴァ書房)

地理学は大きく自然地理学と人文地理学からなりますが、文系向けに人文地理学の各分野がわかりやすく説明された入門書です。地理学の守備範囲の広さと共にそのアプローチがわかります。

「芸術」についての「芸術」

芸術といつてもどこかで生まれ、発展するものであり、必ず場所とのつながりがあります。「洋風」や「和風」という言い方は、芸術が地球上のどこかの文化・文明から生まれてきていることを示しています。個人の芸術家でもそうした芸術家の教育」というのは簡単に言えば芸術を育てるための教育であるのに対

く、沖縄を中心に米軍基地をめぐつてどのような政治運動が展開してきたかを地理学的視点から研究しています。こうした運動の原因を大陸や海洋をめぐる国際関係だけでなく、沖縄の住民を取り巻く環境にも注目して、住民が何を考えて行動するのかという問題的な部分にまで迫っています。

たとえば、沖縄が日本、台湾、中国、そして米国という国際関係上とのようないくつかの視点からも考えていく必要があります。

また、沖縄は100以上の島があり、ひとくくりに「沖縄」として考えるのは難しいです。そのため、もっと細かい島や地域ごとの違い、地域性に着目して研究しています。

「おすすめの本・映画」

人のおすすめに左右されるより、心の支えになる、自分だけのお気に入りの作品を見つけてほしいです。進んで本を読み、映画を観てください。



「コースに入ったきっかけ」

私は、沖縄に集中する米軍基地をめぐつてどのような政治運動が展開してきたかを地理学的視点から研究しています。こうした運動の原因を大陸や海洋をめぐる国際関係上とのようないくつかの視点からも考えていく必要があります。

「おすすめの本・映画」

人のおすすめに左右されるより、心の支えになる、自分だけのお気に入りの作品を見つけてほしいです。進んで本を読み、映画を観てください。

山田さんについて



3回生
山田
亜美
さん

おすすめの授業

教育学実習

大阪市の幼稚園や小・中・高等学年などの教育現場における、子どもたちの変化や学校文化について発表し、受講者同士で討論してその教育的意義について考察する授業です。実際に学校現場に入ることで、教室の掲示物や児童・生徒への声掛けには、教師の様々な意図が反映されていることに気づきました。

人間行動学科 教育学コース

柏木先生について

私は日本の教育史、主に初等教育についての研究を行なっています。人々が行きやすい学校のかたちなどの、その時代の行政の文書や雑誌、新聞記事など様々な資料を分析することで制度や政策の面から解明していくことがあります。

教育学コース ってどんなところ?

教育学とは、人が人に何かを伝える、人が人から何かを学ぶ、ということを様々な視点から研究する学問です。

「教育」というと、学校の先生になると、そのための知識、というイメージを持つ人が多いのですが、教育は親子の間、地域社会の中、職場の中など社会のあらゆるところにその営みがあります。それぞれに、どうやって伝えたらいいか、「どうしたらわかつてももらえるか」といった問いかけがあります。そのような、人間が一生の中で直面する様々な場面において、教育、という切り口で社会に貢献できるような人材形成を教育学コースではめざしています。

教育学とは、人が人に何かを伝える、人が人から何かを学ぶ、ということを様々な視点から研究する学問です。



教授
かしわぎ
敦
先生

教育学コースには、現在の教育を研究対象とし、今後の教育課題やこれからの教育の在り方などを検討しておられる先生もいます。しかし私の研究は過去の教育を対象として、それをどのよう見ることができるのか資料を用いて確実にすること、また必要な資料を振り起こして整理することです。事実、まだみなされていないのであっても、もう一度見直すことで別の見方や異なる考え方を発見することがあります。そうして明らかになった事実をどう解釈するかは人それぞれですが、別の視点から新たな気づきを得る人が現れたらとても嬉しいですね。

「コースに入ったきっかけ」

私は、沖縄に集中する米軍基地をめぐつてどのような政治運動が展開してきたかを地理学的視点から研究しています。こうした運動の原因を大陸や海洋をめぐる国際関係上とのようないくつかの視点からも考えていく必要があります。

「おすすめの本・映画」

人のおすすめに左右されるより、心の支えになる、自分だけのお気に入りの作品を見つけてほしいです。進んで本を読み、映画を観てください。



「コースに入ったきっかけ」

私は、沖縄に集中する米軍基地をめぐつてどのような政治運動が展開してきたかを地理学的視点から研究しています。こうした運動の原因を大陸や海洋をめぐる国際関係上とのようないくつかの視点からも考えていく必要があります。

「おすすめの本・映画」

人のおすすめに左右されるより、心の支えになる、自分だけのお気に入りの作品を見つけてほしいです。進んで本を読み、映画を観てください。

卒業論文 タイトル紹介

- 1歳児保育におけるおもちゃを通じた保護者支援のあり方にに関する研究
- Xこども園を事例として—
- 夜間中学の現状と在日外国人の学習権保障の場としての可能性
- 大学生の能力観に関する研究



卒業論文 タイトル紹介

- 映画製作がもたらす地域への影響
——奈良県大和郡山市を事例に——
- 獣肉利活用は獣害対策に貢献するのか
——三重県みえジビエを事例として——
- 「大阪産（もん）」からみる都市近郊農産物の空間的広がり



言語文化学科

ドイツ語フランス語圏 言語文化コース ドイツ語圏 言語文化領域

本領域は、ドイツ、オーストリア、スイスを中心とするドイツ語圏の文學・文化、ならびにドイツ語を研究対象としています。所属学生の興味は様々ですが、学生の多様な関心に合わせた柔軟な指導ができる体制を整えています。講義はドイツ語圏の思想や歴史、さらにはノンフィクションや語学学習まで幅広く学ぶことができます。授業以外では、留学ももちろんのこと、スピーチコンテストや語学検定試験に挑戦する生徒などの授業を通じて、実践的でバランスの取れたドイツ語能力を身につけることができます。

また、近現代の文學作品や語学の専門書をじっくり読む演習の授業と、ネイティブによるロミオニケーションの授業を通して、選定などのイベントや留学生との交流も盛んで、学生たちは日々アットホームな雰囲気の中で学んでいます。

ドイツ語圏言語文化領域
つてどんなところ？

言語文化学科

英米言語文化 コース

私たちの生活は世界との繋がりなしでは成り立ちません。その架け橋となるのが、今や国際化となった英語なのです。英語の運用能力を磨くことは、他者のコミュニケーションの質を高めてくれます。しかし、それだけでは大学で英語を学ぶことにはなりません。本コースでは、英語という言葉の広がりと深みを研究し、それを基点に多彩な文献やAV資料を用いて、英語圏の文化や歴史を学習します。そうすることで単なる道具としての英語ではなく、精神力を帯びた生きる言葉としての英語を身につけることができるのです。そのとき、みなさんの目に日本語や日本文化は以前と違った姿を見せることでしょう。さあ、未来の世界に向かって一步を踏み出してください。

英米言語文化コース
つてどんなところ？

研究について

英語学概論



3回生
川角 九十九さん

学びについて

英米言語文化コースでおすすめの授業は豊田純一先生の「英語学概論」です。たとえば「フリーライの言語と英語を比較して、英語と標準文法以外の用法があることなど三語としての英語を扱います。ほかの授業もおもしろいものはたくさんあるのですが、言語としての英語を勉強したいと思う人にはおすすめです。

卒業論文 タイトル紹介

- 『ジャズ』における音楽と文学との融合
- Educational Difference Between Schools in New Zealand and in Japan
- Human Beings versus New Media



教授
田中 孝信先生



教授
田中 孝信先生

私は、イギリスが最も繁栄したヴィクトリア朝（一八三七～一九〇一）のイギリス文学について研究しています。特にディケンズ、ブロード、ギャッセル、ギッシングといった小説家のテキストを丹念に読み取り分析することを通して、社会的・文化的コンテクストの中で、権力による二元論を拒む異質なもの」をジレンダ、階級、人種の視点から浮かび上がらせ、それが持つ意味を探ります。最近では大英帝国の首都ロンドンに現れる中心があり、中上流階級から成る中心世界が周縁に対して放つ視線の帯びる複層性・曖昧性を、文学テキストのみならず新聞や社会学・歴史学の資料をも用いて探っています。この「強者」と「弱者」の関係に見らるる境界の流动性は現代にも通じる問題であり、それについて真摯に考察することは、私たちが多様化する世界を生きるうえでの糧となるでしょう。

——コースに入ったきっかけ

高校時代習っていた英語の先生のようになりたい、自分の好きな英語を使つた職に就きたいと思い、私は高校の英語教師をめざしています。英語教師になるうえで英語に特徴して勉強したこと、英語に対する理解を深めたいとしたときに、英語文化コースを選択したので、英米言語文化コースを選びました。

——コースに入つてからの気づき

異なる先生方の授業を受けることで様々な考え方方に触れることができます。様々な考え方方に触れたことで、小説や映画をただ見たり内容を楽しんだりするだけではなく、その中に分析を加えて社会背景との結びつきといったものに気づけるようになりました。そして授業を受けるうちに今まで好きでなかった文学が好きになりました。英語という言語をいろいろな分野で用いできるのがおもしろいと思いました。



長谷川先生の
研究について

講師
長谷川 健一先生

木下さんの 学びについて

おすすめの本
ゲーテ
『若きウェルトルの悩み』
(岩波文庫)

18世紀の恋愛小説ですが、高校時代に初めて読んだとき、ついつい感情移入してしまったことを覚えています。青年期特有の感情の揺れに共感する若者は多いと思います。



3回生
木下 真実さん

——領域に入つたきっかけ

高校生のときオーランキンバースで、この領域の体験授業を受けました。ドイツ語でおもしろさを感じ、新しい言語を学びたいくらいでした。また、大人になって、授業でドイツ語圏の音楽に触れた。興味がさらに深まりました。

——領域に入つてからの気づき

この領域ではドイツ語圏の文化などをひきこみ、モディファイを用いた様々な文部省の「芸術」について研究していくまことに思い浮かべるのは音楽で、まさに音楽の世界が豊かであることがよくあります。ドイツ語圏の文化を楽しむことができるのです。魔女狩りや食文化まで幅広く研究できる授業は、とてもおもしろいところです。

——おすすめの授業

ドイツ語圏言語文化基礎演習

ドイツ語圏の社会や文化をテーマにしたドイツ語テクストを読み進めます。ドイツ語文法を学びつつ、日本とは違うドイツの社会制度や教育制度などを学ぶことがあります。また興味深いところが、ドイツ語の授業はあります。

——おすすめの授業

ドイツ語圏言語文化基礎演習

ドイツ語圏の社会や文化をテーマにしたドイツ語テクストを読み進めます。ドイツ語文法を学びつつ、日本とは違うドイツの社会制度や教育制度などを学ぶことがあります。また興味深いところが、ドイツ語の授業はありませんが、ドイツのオペラを鑑賞できる「ドイツ語特修」もおすす

めです。

——卒業論文
タイトル紹介

- 寓話「赤ずきん」の変遷
- 愛を見失った男アナトールと作者ショニツツラーの冒險——戯れの恋と眞実の愛——
- J.F.ハイナツ——100年先の標準ドイツ語発音を予見した音声学者——



——卒業論文
タイトル紹介

杉本学舎は、戦時中の1944年に大阪海兵団に、その後引き続き米軍に接収され、1954年に大学に完全返還されるまで10年間接収されることとなりました。

言語文化学科 言語応用 コース

言語の理屈から離れて、心の世界へと移る。心言語論では、心言語論の研究分野です。最初は、心言語論の中で特に言語習得に興味を持ち、赤ちゃんが母語として英語を学ぶや日本人の第二言語として英語を学習する際にどのように応用できるかといふことを調べてまいりました。しばらくして、明できないことが結構多いと感じ、脳内で言語はどう処理されているのか調べなければ、自分の抱く疑問に納得のいく答えが得られないという考え方になりました。心言語論の分野へと関心が移っていました。この分野では、たとえば、文法について、文法書に書かれた言葉が脳に記憶されているのでなく、コンピュータのデータベースに入っています。最近書い込まれた情報などを扱います。最近は脳科学から得られる知見をもとに、言語に関する様々な現象を考察しています。



3回生 いざい 生きる 乾 亜希穂 さくら

研究狩先生について

教授 いかり 幸男 先生



学びについて

おすすめの本
山島重『「わかる」とはどういうことか——認識の脳科学』
(ちくま新書) 



准教授
白田 由樹 先生

言語文化学科
ドイツ語 フランス語圏
言語文化コース
フランス語圏
言語文化領域

白田先生について

白田先生について

言語・文学・文化の3つを柱にフランス語圏の様々な事象を学ぶ領域であります。国際フランス語圏機構には世界80ヶ国・地域が加入しています。この広がりを視野に入れつつ、より具体的で身近な主題や方法から学ぶことがあります。たとえば、社会や文化に関する基礎知識をフランス語で学ぶことで、さらに文学作品の歴史解説を読み、語学、言語や文学の歴史を学ぶことができます。より実地に学ぶためフランスに留学する人もいます。さんがそれだけの関心に治つて、みな語学、語圏の文化や社会事象からテーマを選び、掘り下げられるよう、様々な切り口から言葉と文化に触れ、考える機会を提供しています。

フランス語圏言語文化

私は、19世紀末のフランスやベルギーの文化について研究しています。たとえば、サラ・ベルナールという女優は、メディアミックスの黎明期であつた19世紀に登場し、演劇だけではなく美術や文学に様々な影響を及ぼしました。サラは、ボスター・新聞・写真といったマスメディアの発達や都市空間の形成とともに、その存在が時代の画家や文学者は、サラをモデルとして作品を発表しました。さらに、彼女は

当時の女性蔑視の思潮に従つようになつて、見せないから、女性には才能がない、と思われる常識を覆していくのです。このように、19世紀の人文気風を通して、メディアやエンターテイメント表現の関係を考えることができます。また最近は、ドイツ語圏・フランス語圏の先生方など4人でアール・ヌーヴォーの共同研究をしていました。

もともと語学論に興味があり、ヨーロッパへの留学をもらっていました。なんどとき、フレデリコモーソン・サン・ミシェルの映像を見て感動し、とにかくモーソン・サン・ミシェルに行きたい一心でこの領域を選択しました。人々の生活に魅了された、という思いで、最初は地理学を考えていましたが、特にどの地域を研究したいかが定まつていなかったので、文化圏をフランスに絞ったほうが研究しやすそうだとうと考え、この領域に決めました。
——領域についてからのお気づき

——領域に入ったときのかけ

植田さんについて

3回生
うえだ ひろき
大妻 国際 学部

おすすめの授業
エチニカル・**フレンコ**・**フォーム**

卒業論文
タイトル紹介

- メディアが日本人女性に発信する CHANEL のブランド・イメージ——雑誌とウェブサイトに表象される “マドモアゼル・シャネル” 像から——
- フランスにおける日本の料理の受容について
—— *Le Monde* 記事の分析を通して ——
- フランス旧植民地マルティニークにおける政治と文學の構造

「藝術」のフランスといふのは、料理やファッショントンと並んで藝術をイメージする人は多いと思います。なぜ? フランス文化の追隨を許さない他の國たるうと努めてきた歴史があります。そのため王が他國から優れた藝術家や建築家を呼び寄せたり、宮廷を中心に美的の規範を審議するアカデミーを創設したり、大革命後も國が文化産業の振興に力を注ぎ、世界各地から才能ある藝術たちを引きつける「花の都パリ」を作り出してきたの

料理・芸術といった様々な文化を学ぶのがおもしろいようになりました。実際にフランスに行ったことで、現地における移民問題の身近さを痛感しました。そして、日常の会話の中で、言葉と国民性の関わりや、話す・聞く姿勢の大切さに気づきました。こうした経験を通して、言語に対する価値観ががらりと変わりました。

です。今日で、も日本のデザイナーがフランス政府からシュバリエなどの芸術文化勲章をもらったとか、莫大人がパリのコレールで入賞したというニュースを聞くことがありますね。フランスの国家的ブランド力の源には、文化大国というアイデンティティと共に、出自にかかわらず独創的な芸術家や職人を尊重する伝統があります。何だかいことばかりで嘘くさい(?)ですが、もちろん光も影もあるのが現実です。その裏話は授業でぜひ！

卒業論文
タイトル紹介

- メディアが日本人女性に発信する CHANEL のブランド・イメージ——雑誌とウェブサイトに表象される“マドモアゼル・シャネル”像から——
- フランスにおける日本の料理の受容について
——*Le Monde* 記事の分析を通して——
- フランス旧植民地マルティニークにおける政治と文學の構造

卒業論文
タイトル紹介

- 広告コピーにおけるカタカナ
 - マンガ翻訳に見る日英語における物事の
捉え方の差異
 - 「方言がうつる」ということについて



教員紹介

NAME 氏名 職階
研究内容

「主な著書」(発行所 発行年)
「論文」「収録誌」(発行所 発行年)

哲学歴史学科 / 哲学歴史学専攻
哲学コース / 哲学専修

Takashi NAKAHARA 仲原 孝 教授
宗教哲学。カント・ニーチェ・ハイデガーを中心とする近現代ドイツ哲学の研究。
『ハイデガーの根本洞察』(昭和堂 2008)

Tomohiro TAKANASHI 高梨 友宏 教授
ドイツ近現代美学、近代日本の芸術論。
『西洋近現代美學の一観察』(加國尚志・平尾昌弘編著)『哲学の眺望』(晃洋書房 2009)

Takashi TSUCHIYA 土屋 貴志 准教授
倫理学・医療倫理学・人権問題研究。
共著『医学研究』(丸善出版 2012)

Takeshi SAKON 佐金 武 講師
英語圏のいわゆる分析哲学の文脈において、現代時間論および関連する形而上学の諸問題を中心に研究。
『時間によって十全なこの世界——現在主義の哲学とその可能性』(創成書房 2015)

日本史コース / 日本史学専修

Takashi TSUKADA 塚田 孝 教授
日本近世史。特に近世多分野の研究、大阪の都市社会史や和泉をフィールドとした地域史。

「都市社会史の視点と構想」(清文堂出版 2015)
「大阪の非人一揆・天王寺・転びキリシタン」(ちくま新書 2013)

Hiroshi NIKI 仁木 宏 教授
朝鮮地域研究、文化人類学。

IJICHI, Noriko, Atsumi KATO, and Ryoko SAKURADA eds, 2015, Rethinking Representation of Asian Women: Changes, Continuity, and Everyday Life, New York: Palgrave.

「京都の都市共同体と権力」(思文閣出版社 2010)

共編著『信長の天下草紙』(高志書院 2008)

Ashita SAGA 佐賀 朝 教授
日本近現代史、特に近代大阪の都市社会史・地域社会史。近年は近世の遊廓社会史。

『近代大阪の都市社会構造』(日本経済評論社 2007)

Naofumi KISHIMOTO 岸本 直文 教授
日本考古学。古墳時代の研究。現在は、古墳時代から飛鳥時代への社会変容について、とくに一世紀中頃の大改革とそれによる古墳の建築規制の実態から追究している。

著書『史跡で読む日本史 2 古墳の時代』(吉川弘文館 2010)

Toru IWASHITA 盤下 徹 准教授
都司制度の研究・古記録の訳註・大阪の古代史。

「畿内の灘整備と行基」(市大日本史 18 pp.34-49 2015)

世界史コース / 東洋史学専修

Shigeki HIRATA 平田 楠樹 教授
中国の近世史・科挙・官僚制を中心とする政治構造の歴史。

『宋代政治構造研究』(汲古書院 2012)
『宋代政治結構研究』(上海古籍出版社 2010)

Chikayoshi NOMURA 野村 契義 准教授
近現代インド史。

『Selling steel in the 1920s : TISCO in a period of transition』(The Indian Economic and Social History Review, Delhi, vol.48-1, pp.83-116, 2011)

Masayuki UENO 上野 雅由樹 講師
西アジア・中東近代史、オスマン帝国史。
『For the Fatherland and the State? Armenians Negotiate the Tanzimat Reforms』(International Journal of Middle East Studies vol.45(1) pp.93-109, February, 2013)

世界史コース / 西洋史学専修

Takashi OGURA 大黒 俊二 教授
中世・ルネサンス期イタリアおよび地中海世界の社会史・経済史。

『走と文字』(岩波新書 2010)
『商人と食料』—西欧中世の商業・商人観。(名古屋大学出版会 2006)

Masafumi KITAMURA 北村 昌史 教授
近現代ヨーロッパ、特にドイツの社会史。
『ドイツ統一と第二帝国』(小山哲・上坂良・山本忠史・杉本源蔵編著)『大学で学ぶ西洋史(近現代)』ミネルバ書房 2011)

Hisatsugu KUSABU 草生 久嗣 准教授
ビザンツ史、ヨーロッパ中世史、宗教問題史、異端学。

共著『北西ヨーラシアの歴史空間——前近代ロシアと周辺世界』(北海道大学出版会 2016)

人間行動学科 / 人間行動学専攻
社会学コース / 社会学専修

Yuzo SHINDO 渥藤 雄三 教授
理論社会学・医療社会学・家族社会学を専攻。現在の主な研究テーマは現代社会理論・医療専門職論・医療社会学研究。

共著『社会学』(医学書院 2012)

Saeko ISHITA 石田 佐恵子 教授
メディア文化研究、映像社会学。

共編著『ポピュラーカルチャー』(ミネルバ書房 2013)
共編著『ホスト舞妓のメディア社会学』(ミネルバ書房 2007)

Noriko IJICHI 伊知地 紀子 教授
朝鮮地域研究、文化人類学。

IJICHI, Noriko, Atsumi KATO, and Ryoko SAKURADA eds, 2015, Rethinking Representation of Asian Women: Changes, Continuity, and Everyday Life, New York: Palgrave.

「朝鮮のマタタキ」—朝鮮・家醸酒文化を今に受け取る。(社会批判社 2015)

「日本人が見た江州人の生活—生活世界の創造と実践」(済州大学校歌文化研究所 2013 韓国語)

Eiji KAWANO 川野 英二 准教授
社会政策の社会学・比較社会学。

セジラ・ボーグム『貧困の基本形態—社会的紐帯の社会学』(中條健志と著訳)新星社 2016
「大阪市の貧困と近隣効果—貧困層は対立しているのか?」(貧困研究 第9号、貧困研究会 pp.18-29 2012)

Hideaki SASAJIMA 笹島 秀晃 講師
都市社会学。

『From Red Light District to Art District: Creative City Projects in Yokohama's Kogane-cho Neighborhood』, Cities, 33 2012

心理学コース / 心理学専修

Tomoko IKEGAMI 池上 知子 教授
社会心理学: 人対認知・偏見とステレオタイプ・社会的アイデンティティと社会システムの関係。

『格差と序位的心理学—平等主義のパラドクス』(ミネルバ書房 2012)

Hiroshi YAMA 山祐嗣 教授
認知心理学: 推論、思考の潜在性・顕在性、比較心理学。

『思考・進化・文化—日本人の思考力』(ナカニシヤ出版 2003)

Kouichi KAWABE 川邊 光一 准教授
生理心理学・高次認知機能(特に学習・記憶)の脳内機構・精神疾患動物モデルに関する行動薬理学的研究。

『Effects of neonatal repeated MK-801 treatment on delayed nonmatching-to-position responses in rats』(NeuroReport, Vol.19, No.9 pp.969-973, 2008)

Daisuke SAeki 佐伯 太輔 准教授
行動分析学: 判断・意思決定・選択・推論。
『価値評引の心理学—動物行動から経済現象まで』(昭和堂 2011)

教育学コース / 教育学専修

Atsushi KASHIWAGI 柏木 敦 教授
日本教育史、初等教育制度政策史。

『日本近代就学慣行成立史研究』(学文社 2012)

Haru SOEDA 添田 靖雄 准教授
比較教育文化史・教育・学習における話すことと聞くことの研究、いじめ問題の国際比較。

共訳『進歩主義教育の終焉—イングランドの教師はいかに授業づくりの自由を失ったか』(岩波書店 2013)
共編『世界のいじめ』(金子書房 1998)

Hiroyoshi MORI 森 久佳 准教授
教育学(教育方法論、カリキュラム論、教師論)。

共編『こどもと関わる』(ブレイズリーニューション 2013)
共著『教師の仕事と求められる力量』(あいり出版 2011)

Nozomi SHIMADA 島田 希 准教授
教育方法学、授業研究。

「学校における実践研究の発展要因の構造に関するモデルの開発——『専門的学習共同体』の発展に関する知見を参照して—」(日本教育学会論文誌)日本教育学会, 39(3) pp.167-179, 2013)

地理学コース / 地理学専修

Shigeaki OBA 大場 茂明 教授
都市政策とまちづくり、ドイツ地域研究。

「グローバル化時代におけるEU成長都市圏の地区更新戦略—ハーフブリックを事例として—」(日本都市学会年報 Vol.45 日本都市学会 2013)

Toshio MIZUCHI 水内 俊雄 教授(兼任)
都市の社会問題・住宅問題の歴史的経緯や、都市アーバニズム支援の現状や都市再生に関する東アジアを含むNPOを軸にする政策研究、社会地理学的研究。

共訳『方言と中国文化』(周振鹤・游氏著 增生館 2013)
共著『モダン都市の発展』(ナカニシヤ出版 2008)
著者(共著) 大阪市立大学都市研究ラボ教授

Takashi YAMAZAKI 山崎 孝史 教授
グローバルな政治経済の変動とローカルな政治・社会運動に関する地理学的研究、沖縄研究。

『政治・空間・場所—政治の地理化』(政治学研究 第9号、政治研究会 pp.1-20 2013)

Ryoji SODA 祖田 亮次 准教授
人文地理学・人口移動・資源利用・管理・災害文化・東南アジア地域研究。

『People on the move: rural-urban interactions in Sarawak』(Kyoto University Press and Trans Pacific Press, 2007)

Yoshinari KIMURA 木村 義成 准教授
地理情報システム・保健医療分野におけるGISの応用研究。

『Geodemographics profiling of influenza A and B virus infections in community neighborhoods in Japan』, (Yoshinari Kimura, et al., BMC Infectious Diseases, 11:36, 2011)

Takanobu TANAKA 田中 孝信 教授
文学テクストと大衆メディアとの関係の研究。

『Dickens in Japan: Bicentenary Essays』(Osaka Kyoku Toshio, 2013, coauthorship)

Ian RICHARDS イアン・リチャーズ 准教授
New Zealand literature.

『Do-It-Yourself History: A commentary on Maurice Shadbolt's "B's Land"』(Lonely Arts Publishing, Auckland 2011)

Tetsuo KOGA 古賀 哲男 准教授
アメリカ文学(黒人詩研究)。

『大衆詩における独創とはなにか』(『豹と鞭』におけるビュースの編集意識)『黒人研究』82 pp.22-29 2013)

言語文化学科 / 言語文化学専修
国語国文学コース / 国語国文学専修

Tetsuya NIWA 丹羽 哲也 教授
日本語の意味と文法。普段使っている言葉がどのような仕組みでできており、それが過去から現代までいかに変化してきたかという研究。

『日本語の題目文』(和泉書院 2006)

Naoki KOBAYASHI 小林 直樹 教授
中世の説話伝承文学。とりわけ現在は、通世僧の文学世界を中心して研究を進めている。

『中世説話集とその基礎』(和泉書院 2004)

Hiroaki KUBORI 久堀 裕朗 准教授
近世文学、おもに文元浄瑠璃の研究。
共著『上方文化講座 義經千桜』(和泉書院 2013)
共著『上方文化講座 常伝授手習慣』(和泉書院 2009)

Kumiko OKUNO 奥野 久美子 准教授
芥川龍之介など大正時代の小説。特に大衆文化から影響について。
『芥川作品の方法』(和泉書院 2009)

Majuko YAMAMOTO 山本 真由子 講師
中古文学、おもに漫文学・和歌の研究。

『『狂歌』の「うたの序」—源順における和歌序と詩序—』(『国語国文』82巻6号 2013)

中国語中国文学コース / 中国語中国文学専修

Tsuneo MATSUURA 松浦 恒雄 教授
19世紀末以降の中国近現代文学、および演劇。

共編『『狂歌』の「うたの序」—源順における和歌序と詩序—』(『国語国文』82巻6号 2013)

Yoshiyuki FUKUSHIMA 福島 祥行 教授
ひとはどうのように通じあつかの研究。相馬五郎論、コミュニケーション論、外國語学習(欣賞學習、ボートオフリオ、言語学、翻訳とノート、コミュニケーション)、フランス語圏論。

「協議語における『学生の権利』—フランス語初学者の組合行為分析から—」(人文研究:66 大阪市立大学人文学科研究 2015)

Mari IWAMOTO 岩本 真理 教授
近世から現代にいたる中国の語彙・語法の変遷。唐話資料による近世中国語の日本における定着と変容。

共訳『方言と中国文化』(周振鶴・游氏著 増生館 2013)

Shinmin CHO 張 新民 教授
現代中国文化論及び映画研究。

共著『中国映画のみかた』(大修館書店 2010)

Koji IWAMOTO 大岩本 幸次 准教授
中国語古典と書写研究。

『中国経世解説と教訓』(岩波書店 2011)

言語応用コース / 言語応用学専修

Shigeki SEKI 関 茂樹 教授
統語論、語用論。英語などの言語に見られる多形式と意味との対応関係の機能的観点からの研究。

『英語指標文の構造と意味』(開拓社 2011)

Yukio IKARI 井狩 幸男 教授
母語獲得メカニズムの解明に向けた神経心理言語学研究。

『ハイリガソリス入門』(山本裕代 編著 井狩幸男、田浦秀幸、難波和彦 大修館書店 2014)

Masato YAMAZAKI 山崎 雅人 教授
言語基礎論、言語比較論。言葉の仕組みをさまざまな面から論じる。

Kazuhiko TANAKA 田中 一彦 教授
英語における特殊な過去完了形の用法について、willはテンスかモードか。

『過去完了形の用法を保証するオリエンテーション』(『言語情報学研究』vol.8 2012)

表現文化コース / 表現文化学専修

Masako MIKAMI 三上 雅子 教授
現代演劇研究。

『恋する男と愛する女—宝塚歌劇における男性愛』(表現文化)No.6 大阪市立大学人文学科研究室(表現文化教室 2011)

Junichi TOYOTA 豊田 純一 准教授
認知科学、歴史言語学、文化人類学。

Sense of Emptiness: an interdisciplinary perspective. (Newcastle upon Tyne, Cambridge Scholars Publishing, 2012)

ドイツ語フランス語圏言語文化コース / ドイツ語フランス語圏言語文化学専修
ドイツ語圏言語文化領域

Michio KAMITAKE 神竹 道士 教授
言語学、ドイツ語学、ドイツ語文法理論。特に16世紀以降の標準ドイツ語形成過程を研究。

教科書『ドイツ文法ベーシック3』改訂版。(朝日出版社 2016年1月)

Kinuko TAKAI 高井 絹子 准教授
19世紀末以降のドイツ語圏文學・文化。
『インゲルブルク・ハッハマンとヴィーン—観念的な地図の書き換えをめぐって』(『人文研究』No. 14 2014)

Kenichi HASEGAWA 長谷川 健一 講師
18・19世紀のドイツ語圏の文化・文學。
共著『ドゥーラー—流域の文學と文化』(晃洋書房 2011)

フランス語圏言語文化領域

Hiroyuki TSUGAWA 津川 廣行 教授
20世紀フランスの小説・思想の研究。複雑系論。

『アートの力』(和泉書院 2013)

『これからのアートマネジメント—ソーシャル・エアウェイズ』(フィルムアート社 2011)

Mitsuhiko NOZAKI 野崎 充彦 教授
韓国古典文化論(思想・宗教・文学・映像文化)。
『韓国映画史』(明石書店 2016)

『洪吉公伝』(平井社 東洋文庫 2010)

共著『韓国古典小説』(ペリカン社 2008)

Hiroshi TAWADA 多和田 裕司 教授
アジア諸地域の文化人類学的研究、現代社会におけるイスラーム。

共著『イスラーム社会における世俗化・世俗主義』(上智大学アジア文化研究所 2013)

『マレーシアのイスラーム』(ナカニヤ出版 2005)

Satoshi MASUDA 増田 聰 准教授
ボリューム音楽研究、都市大衆文化研究、文化所有権(著作権・作者論など)。

『音楽をくるく—音楽批評の解説文法』(音工社 2006)

『その音楽の「作者」とは誰か—リミックス・産業・著作権』(みすず書房 2005)

Madoka HORI 堀 まさと 准教授
国際日本研究。比較文化。境界者の文化から、文学の境界をさぐる。

共著『「パリサンガル」な日本語文学—多言語多文化のあいだ』(三元社 2013)

主著『「二重国體」詩人 野口米次郎』(名古屋大学出版会 2012)

Keita AMANO 天野 晴景 准教授
観光学(都市觀光学・鶴見光メディア研究・ユーダイリズム論)、都市社会文化論。

共著『「観光まちづくり」研究』(中央大学出版部 2015)

—特任教員—

○表現文化専修
Kimi EMURA 江村 公 特任教員

○ドイツ語フランス語圏言語文化学専修
Simon OERTEL ジモン・エトレー 特任教員

Laurent BAREILLE ロラン・ペリエ 特任教員

○都市文化研究センター
Yu ISHIKAWA 石川 優 特任教助教

Noriyuki NOZUE 野野 紀之 教授

19世紀末イギリスの文学および文化思想。

『「ジョルジョ・ヨネル」の批評言語』(ペイター・ルネサンスの美学) 論叢社 2012)

Akihiro ODANAKA 小田中 章浩 教授

フランス演劇・比較演劇・分野横断的な表

象(たとえば虚構としての記憶喪失)の研究。

『モダンドラマの冒険』(和泉書院 2014)

Yoko TAKASHIMA 高島 葉子 准教授

比較文学・比較文化・民間文化・民間文化

特に江戸精神性の研究。

『江戸精神性』(和泉書院 2013)

Takeshi EBINE 海老根 剛 准教授

表象文化論。

『表象文化論』(和泉書院 2014)

2016年8月現在

市文生の一日

市文生のお金事情

1ヶ月の収入



猪野さんの時間割

月	火	水	木	金
1				
2	英語 基礎論	英文化 演習	マスニコ ミュニケ ーション論II	平和学
3	西洋史 基礎講話	言語 応用論	比較 表現論	新しい 動物 行動学
4	人間 文化 概論I	表象 文化論	世界史 基礎論I	College English V
5	表現・表 象文化論 基礎演習I	表現・表 象文化論 基礎演習II	都市生活 と人間 福祉	

Q. 部活・サークル入ってる？ 部活・サークル

A. 入ってる！ 89%



一市大文学部で良かったなと思うこと

私は、昔から優柔不断だったから、1年間いろんなことを学んだうえでコースが選択できるっていうのはすごく助かりました。

市大はのんびりとして、楽しいところやし、みんなやりたいことはちゃんとやれる大学やと思ってるんで、もしかしたらぜひ来てください。

徳島から来るとき、最初は大阪っていう都会の街に憧れて、田舎から出てきたばかりの頃はちょっと怖いかなって思ってたんですけど、市大来てみたらみんないい子やって、今は友達もいっぱい増えて、楽しく充実した毎日を過ごしてます！



2回生 表現文化コース

いの 猪野 紗良さん

下宿生
徳島県出身



登校



ー今日の持ち物ー



いってきます！

市文生の一日に密着しました。
文学部1回生を対象にアンケートも行ないました。
市文生の生活スタイルとは……？

起床



授業



学情



本を選ぶ



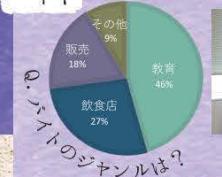
帰宅



Q. バイトしてる？

A. はい！ 61%

バイト



塾の講師

1回生
まつい としあき
松井 利晃さん

自宅生
和歌山県出身



ー今日の持ち物ー



松井さんの時間割

月	火	水	木	金
1	College English I	中国語 基礎1・2	人間文化 基礎論1b	人間行動 学概論I
2	中国語 基礎1・2	体力 基礎	College English II	東洋史 の見方
3	ジギング・マラソン	生物	への招待	地図市民 と人権
4	人間文化 概論I	大阪落語 への招待	中国語 应用1A	日本国 常法
5	大阪落語 への招待			

ーファッショントピックー

服装は落ちていた感じが多いかな。暖色よりも寒色の服が多い。上下とも服が他の日と被ってしまうこともあって、すごく大変やな……とは思う。週1回のペースで被るのは……変えなあかんと思う 笑。

ー大学生活についてー

高校生が想像している通りの大学生活とは違うかもしれないけれど、勉強を極めたい人は勉強を極めることもできるし、サークルに入って生涯の友情を誓い合えるような友達を作ることもできるし、バイトを通して社会を経験することもできる。まあ、自分でお金を稼ぐこともできるから、その稼いだお金でたまには親孝行したり 笑。結局、全部自分で決めてやりたいようにできるっていうのが大学生の良さやから、自分で決めるっていうのが大事やと僕は思います。

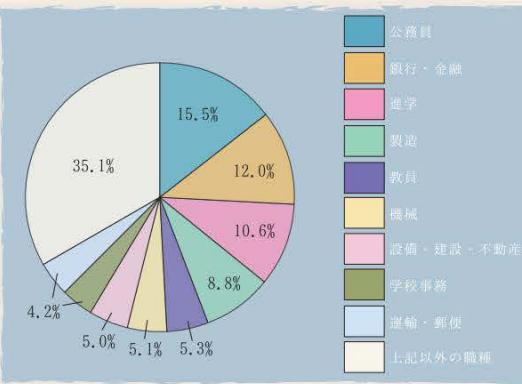
ー猪野さんの下宿の様子☆

就寝



おやすみなさい……





進学・就職データ

市大文学部の卒業生は様々な分野で活躍しています。このページでは過去2年分のデータ一覧と大まかな職種分布の円グラフを掲載しています。

2014年度卒・2015年度卒

※このデータは2014年度卒・2015年度卒のデータを統合しています。

進学	大阪市立大学大学院／東京大学大学院／京都大学大学院／大阪大学大学院／筑波大学大学院／兵庫教育大学大学院／首都大学東京大学院
教員	大阪府／奈良県／兵庫県／和歌山県／大和高田市／帝塚山学院／浪速学院
公務員	大阪府／大阪市／茨木市／泉大津市／門真市／堺市／吹田市／高槻市／豊中市／寝屋川市／藤井寺市／東大阪市／奈良県／奈良市／橿原市／大和郡山市／兵庫県／神戸市／京都府／京都都市／和歌山県／美祢市／法務省／防衛省／警視庁／関東信越国税局／大阪国税局／近畿地方整備局／大阪地方検察庁／奈良労働局
流通小売	ラピース／ペルーナ／サンタリービバレッジサービス／イントリアセンター／ダイク／ティノス／セシール／ファミリア／広島トヨベット／寺内／万通国際貿易
製造	メイワパックス／トブコン／アシックス／ユニ・チャーム／ヒボロー／ビアス／F&A／NTN／TOTO／オーミケンシ／トリンプ・インターナショナル・ジャパン／川島織物セルコン／鶴見製作所／京セラドキュメントソリューションズ／光世／岸ディスプレイプロダクト／内田洋行／三菱商事パッケージング／住友電装／松田産業／大王製紙／椿本興業／東洋紡／旭化成／日本たばこ産業
放送広告通信	日本放送協会／岡山放送／WAVE／エキスプレス／カラフルカンパニー／フリー・フォーム・カンパニー／フジテレビ
サービス人材派遣	トランス・コスマス／ファームリッチ近藤／エイジェック／パナ／レジェンド・アブリケーションズ／ロココ／長浜葬祭
保険	あいおいニッセイ同和損害保険／アメリカンファミリー生命保険会社／かんぽ生命保険／東京海上日動火災保険／三井住友海上火災保険／三井生命保険／損害保険ジャパン日本興亜／日本生命保険／相互会社
教育事業	イーオン／ウィルウェイ／ナガセ／個別指導塾スタンダード／大原学園／成城学園
情報	N T Tコムウェア／D N P情報システム／N S D／日本総研情報サービス／博報堂D Yインター／ソリューションズ
銀行・金融	S M B C融資業務サービス／ゆうちょ銀行／関西アーバン銀行／阿波銀行／池田泉州銀行／ジェーシービー／みなど銀行／りそなホールディングス／近畿大阪銀行／三井住友銀行／三菱UFJ F モルガン・スタンレー証券／三菱東京UFJ銀行／南都銀行／北陸銀行／京都銀行／京都信用金庫／京都中央信用金庫／広島県信用組合／三井住友カード／三井住友信託銀行／みずほフィナンシャルグループ／大阪シティ信用金庫／大阪厚生信用金庫／播州信用金庫
機械	ダイキン工業／トヨタ自動車／芦森工業／キーエンス／ヒラカワ／山善／寺岡精工／日東精工／総合車両製作所／三菱電機／中西金属工業／萬世電機／椿本チエイン
エンターテイメント	フリュー／キヨードー大阪／宝塚クリエイティブアーツ／ピーワークス／日本スキー場開発／K C J G R O U P
学校事務	関西医科大学／関西大学／立命館大学／京都市立芸術大学／大阪市立大学／和歌山県立医科大学／大阪大学／徳島大学／奈良先端科学技術大学院大学／藍野学院／森教育学園／常翔学園
食品	アサヒビール／ヤマノ／蓬莱／林一二
医療・福祉	鴻池会／医療法人彩樹／モリタ製作所／光洋／協和発酵キリン／小野薬品工業／国立病院機構近畿ブロック事務所
医薬品	D A C S／アイル／オーピック／エヌ・ティ・ティマーク
コンサルティング	ティングアクト／エイビス／ダイワボウアソシエイティ／アイティク阪急阪神／トレーディング／ユーワックシステム／ジェイエア／阪急交通社／阪急阪神エクスプレス／三洋航空サービス／日新／全日本空輸／南海バス／日本交通／日本郵便
運輸郵便	伊藤忠建材／ナサホーム／マーキュリー／竹中工務店／長谷工コーポレーション／三菱電機ライフサービス／積水ハウス／大阪府住宅供給公社／大東建託／大和ハウス工業／日鉄住金テックスエンジ／日本総合住生活／飛島建設
設備建設不動産	エイチ・アイ・エス／日本旅行
旅行	青年海外協力協会／日本年金機構／わかや農業協同組合／神戸商工会議所／コンベンションリンクルケージ／ユアサ商事／幸福の科学／天理教教会本部
その他	



なかにしれん
中西 廉さん 前期博士課程1回生

①ドイツ語フランス語圏言語文化学専修

②もともと一つの伝承が時間を経てどのように変化するのかについて興味がありました。そのため、ファウストというドイツの伝承を研究テーマとしてあつかうことにしましたが、思っていたよりもファウストというテーマは手強く、当時2回生だった私は、これは時間が足りない、おそらく悔いが残る結果になるだろうと考えたので大学院への進学を決めました。



③ファウスト伝承についてほぼ毎日考え続けていますので、粘り強さやあるいは執着心が磨かれていると思います。また、ファウスト伝承に留まらず興味のある分野もない分野も幅広く学習を続けてきたので、広く浅く、ところにより深い知識も身につけることができたと自負しています。そうした知識と精神力を活かして楽しく生きていけたらいいと思います。

卒業生 インタビュー

インタビュー内容

○大学院生

- ①在学中の専攻・専修
- ②大学院に進んだきっかけは?
- ③将来大学院での学びをどのように活かしていきたいですか?
- 一般企業・教員・公務員
- ①卒業した学科・コース
- ②文学部での学びは現在の仕事にどのように通じていますか?

公務員 しばた まゆこ 柴田 真友子さん 2015年度卒

①言語文化学科 言語応用コース

②所属していた言語応用コースでは、人が物事を捉える際の考え方と言語とのつながりや、身近な言語表現の効果などについて学びました。現在勤めている役場においては、法律や制度などを、わかりやすく市民の方に伝えることが不可欠です。そのため、市民の方にお送りする文書などの作成時には、文学部での学びを活かし、ひとつひとつの言葉に気を配ることで、正確でわかりやすい表現を用いるように心がけています。また、教育促進支援機構の活動においては、様々な立場の人の意見を吸収することで、企画を改善していくという経験を積むことができました。現在の仕事においても、多くの人と連携を取りながら業務を進めていく必要があるため、教育促進支援機構での学びが役立っていると感じています。



一般企業

もりわき けんすけ 森脇 健介さん 2013年度卒

①人間行動学科 心理学コース

②私は今、地方銀行で働いています。お金の仕事はミスが許されないので、常に確実な仕事が求められます。そんな仕事をする中で活きている感覚としては、学生時代に培った「目の前の課題にしっかりと向き合う力」だと思います。これは卒論研究を行なっていた頃、いくつもの壁にぶつかりながらも、ひとつひとつ課題に正面から向き合い、考え方抜いたことで身についた力です。自らよく考えて仕事をすることは、仕事をするうえで最も大切なことのひとつです。文学部で卒論研究を通して、こうした経験ができたことは、間違いなく今の仕事にプラスになっていると感じています。

教員 西村 希美さん 2014年度卒

①言語文化学科 表現文化コース

②文学部で得た知識や、筋道を立て自分の考えを伝える能力などは、現在の仕事に大いに役立っています。ですがそれ以上に大きく影響しているのは、学ぶ楽しさを知ることができた、ということです。今思い返すと、文学部での学びはとても刺激的でした。様々な考えに触れて、小さな出来事に疑問を持ち、自分なりに論を展開する。自分の知識と経験をすべてつなげ込んで物事について考えるという経験は学ぶことの楽しさを私に教えてくれました。現在、生徒や教材と向き合いながら学び続けることができるのも、文学部で学ぶ楽しさに出会えたからこそです。この先もその気持ちを忘れず、生徒にも学ぶ楽しさを伝えられるような教員になりたいと思います。



大阪市立大学 文学部・文学研究科 教育促進支援機構

研究支援

院生・学部生の主体的な知的探求を支援しています。研究事業の実施や修論の提出などを行なっています。



編集

研究科の活動を記録しているフォト、ラム人文学」や、市大文学部についての情報を学部案内冊子の企画、作成、編集を行なっています。



教育支援

新学期に1回生が上回生が親睦を深める「新入生歓迎キャンプ」や、自身が所属するコースの説明をする「コースガイダンス」の企画を担当しています。



広報

市大をめざす人が興味を持つ人を対象に様々なイベントを行なう「オープンキャンパス」や、春の市大授業を実施したり、文学部の先生方が模擬授業をしたり、市文生と話をしたり、文学部での学びを体感してもらおう「市大授業」を開催しています。



進路支援

就職活動や教員採用試験にチャレンジする学生に向けて、就活や面接などのセミナーなどを実施しています。今年度は新たな試みとして1・2回生が行なわれました。



支援機構ではしたいことをできるということがあります。中高生の頃はクラスの中⼼人物の意見通りがちですが、支援機構では年齢に関係なく全員の意見が平等にあつかわれる所以、「これをしたい」という意見は一つの大重要な意見として吟味してもらっています。冊子を作ったり、プレゼンをやったり、普通の大学生活では味わえない貴重な経験をすることができるのには、ありがたいですね。

○企画の楽しさとは?



社会学コース
3回生
こさかいたる
小坂至さん

アンケートにお答えいただいた方の留学先はこちら!!

アメリカ	中国
イギリス	ドイツ
オーストラリア	日本
カナダ	フランス
タイ	ロシア

大阪市立大学文学部では世界中の多くの国に留学に行くことができると思ってもらいましたか?

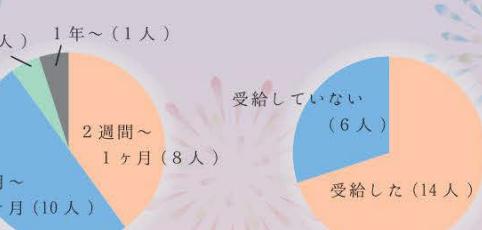
しかし、まだまだ疑問は尽きないはずです。
たとえば、

「留学の費用や期間って大体どのくらい?」

「留学時に奨学金をもらった人ってどれくらいいるの?」
このページでは、そんな疑問を解決するべく、留学に行った方20人を対象に行なったアンケート結果を掲載しています。



留学にかかった費用



留学期間

留学に際する奨学金受給の有無

リーダーのこと

みなさん、大阪市立大学文学部案内『はんなりてら』をお読みいただけありがとうございます。また、企画・取材・編集などはすべて私たち学生スタッフが主導で行なっています。



文学部案内『はんなりてら』編集長
3回生 今井達也



どんな冊子にするかを、スタッフ全員でいちから決めていきます。
写真はミーティングの様子です。



表紙撮影の様子です。あいにくの雨でしたが、素晴らしい写真を撮ることができました!



<http://urx.red/uGIO>

このたびは、文学部案内をお読みいただきありがとうございます。
この冊子は毎年、大阪市立大学文学部の学生・スタッフによって作られています。毎年冊子のみなさんの参考にするため、読者のみなさんの率直な感想をお聞かせくださいたいと思います。
左記のQRコードまたはURLからご回答をお願いします。



教育促進支援機構の公式キャラクターでらちゃん。実は文学部の学生・先生からの公募によって生まれました。

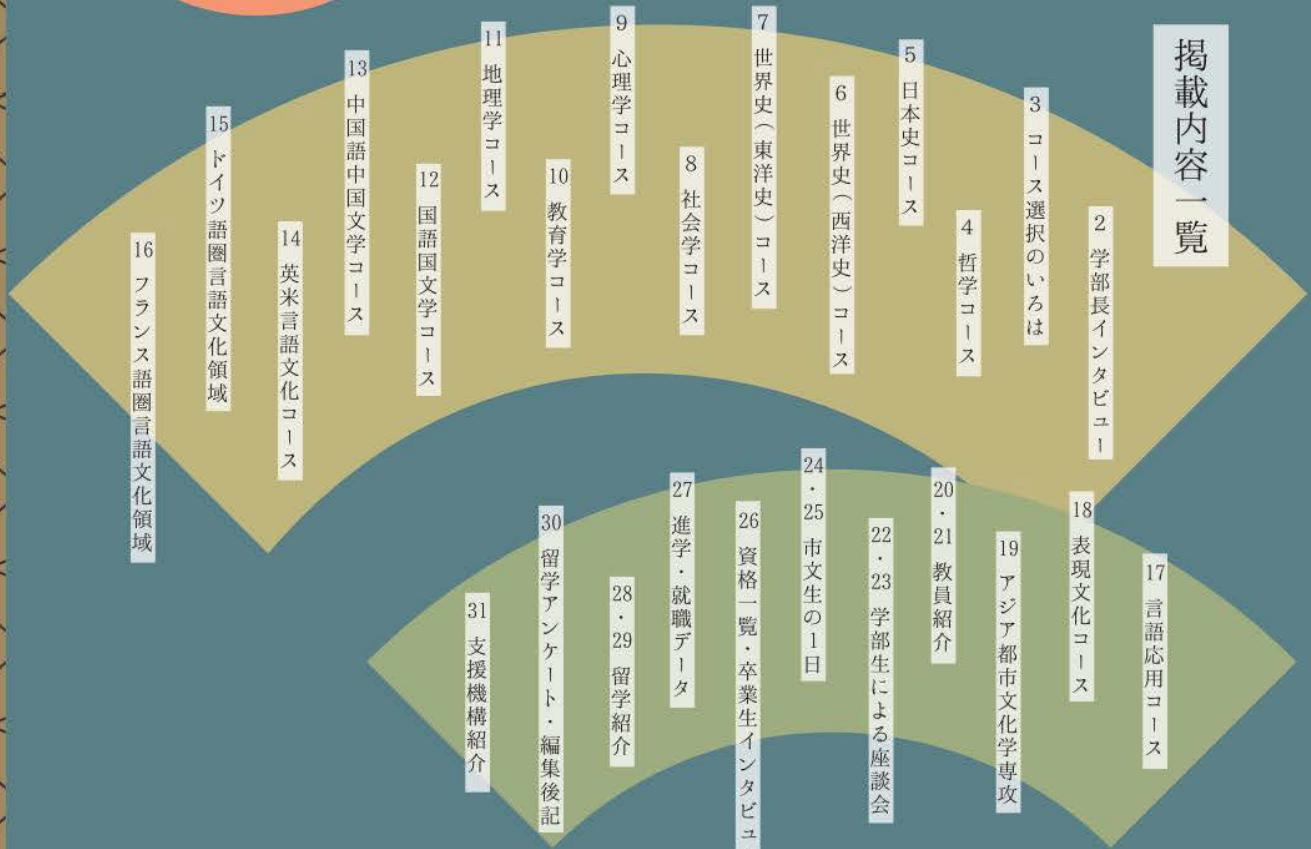
はんなりてら

発行 大阪市立大学大学院文学研究科・文学部

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

www.lit.osaka-cu.ac.jp

掲載内容一覧



編集スタッフ



1回生	井上 唯 (ゆい)
2回生	上園みゆき (ぞの) 内田帆香 (あほのか) 板倉沙季 (いくら) 稻富航平 (どみ) 高 亜美 (こうあみ) 森下佳奈 (かなやん) 今井達也 (いまだつ)
3回生	岸 夢美 (ゆめみ) 熊谷朱音 (あかね) 中川京香 (きよん) 中村伸二 (しんじ) 斎藤安佳理 (あかり)
教員紹介	阿部杏香 (あびこ) 森本雅大 (もりばん) 成川亞弥 (あいやん) 林月乃 (つつき) 福田彩華 (あやか) 古川恵 (めぐどん) 行田美希 (ゆうき) 米田あゆみ (よねちゃん)
アジア都市文化学専攻	
表現文化コース	
言語応用コース	
コース選択のいろは	
哲学コース	
日本史コース	
世界史（東洋史）コース	
世界史（西洋史）コース	
社会学コース	
心理学コース	
教育学コース	
地理学コース	
中国語中国文学コース	
英米言語文化コース	
ドイツ語圏言語文化領域	
フランス語圏言語文化領域	
市文生の1日	
資格一覧・卒業生インタビュー	
進学・就職データ	
留学紹介	
留学アンケート・編集後記	
支援機構紹介	